

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	宇都宮大学 オプト-バイオシンポジウム 会場：宇都宮大学 (陽東キャンパス)
演題名	微細藻類 <i>Euglena gracilis</i> の明暗周期培養におけるカロテノイド合成系遺伝子発現の解析
発表者	○丹野夕麗★[1]、小島崇裕★[1]、加藤翔太**[1]、石川孝博[2]、 <u>朝比奈雅志[1]</u> 、 <u>篠村知子[1]</u> (植物分子細胞学研究室) [1] 帝京大・理工、[2]島根大・生物資源
内容	我々は、バイオ燃料原料として注目されている微細藻類 <i>Euglena</i> の屋外培養における光傷害回避のためのメカニズムとしてカロテノイドの役割に注目しています。本研究では <i>Euglena</i> から単離した複数のカロテノイド合成に関わる遺伝子 (crtE、crtB、crtPオースログ、crtQオースログ) の発現に及ぼす明暗周期の影響を解析しました。 本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受け、H28年度の本研究室の卒研究生 (★)、大学院生および博士研究員 (**)も参加して活発な研究交流を実施しました。
関連画像	